

(1) 本県のいじめ問題等対策の現状

学校ネット
パトロール事業

インターネット上における誹謗中傷やいじめ、犯罪被害等から児童生徒を守るためにBBS（電子掲示板）、You Tube、ブログ、プロフ等の不適正な書き込み等を検索、監視を行うとともに書き込みの削除依頼等の対応を実施

SOSダイヤル

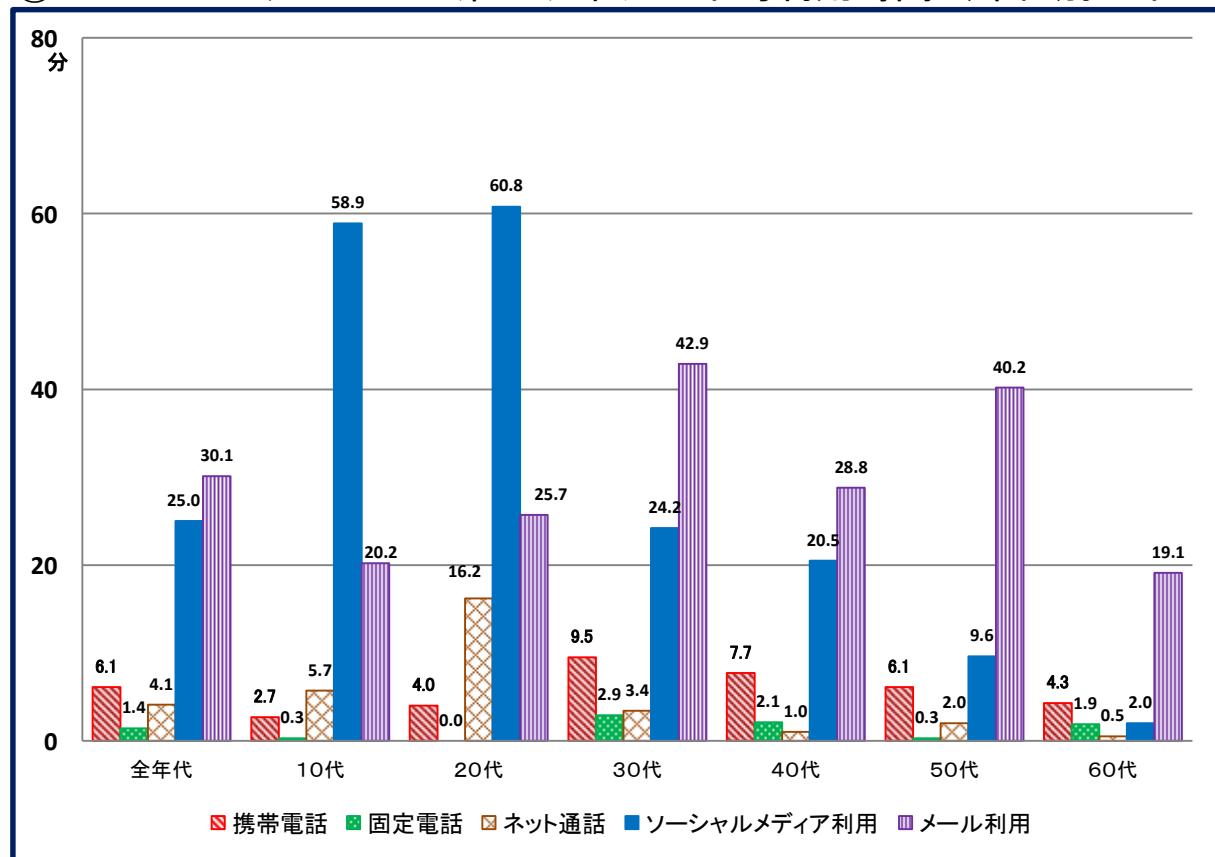
いじめ問題をはじめとする子どものSOSサインに対し、電話による相談体制（24時間）を整備

Eメール相談

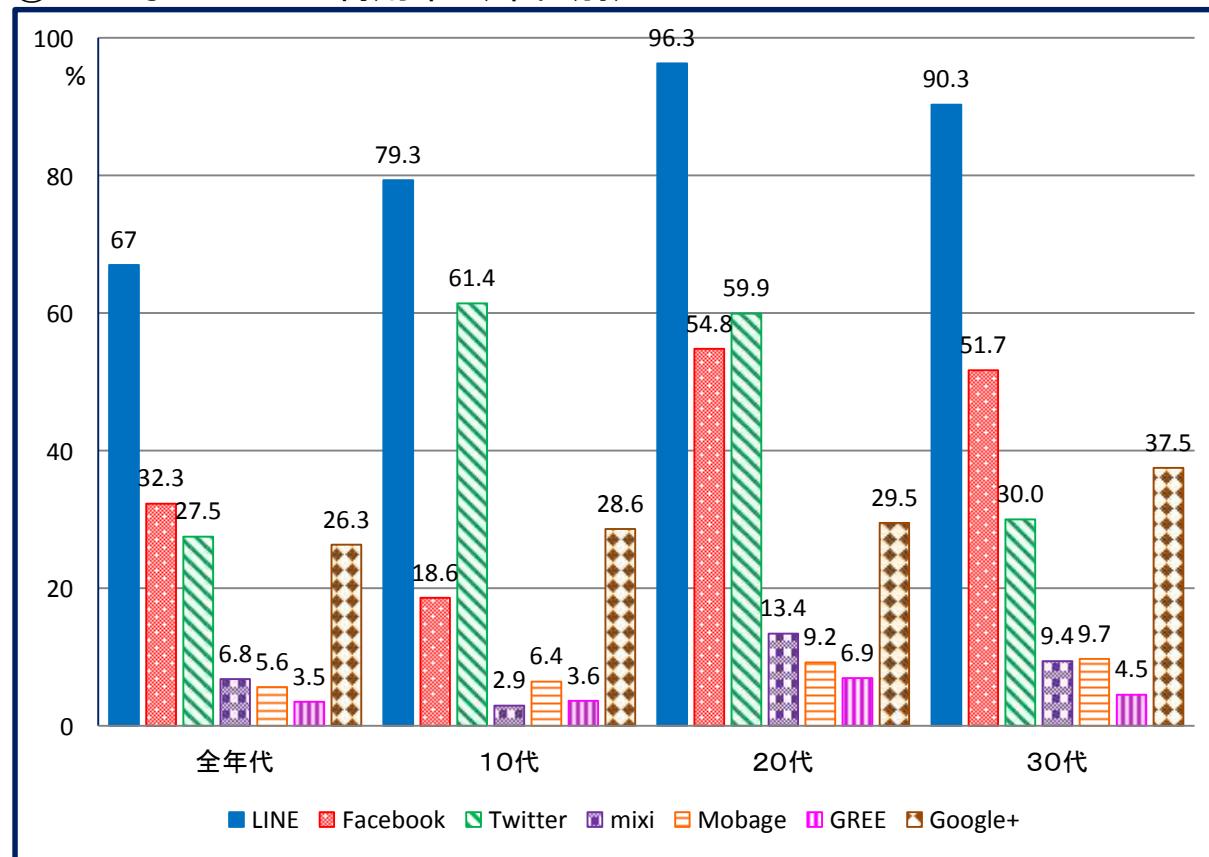
いじめや不登校をはじめとする子どもの様々な悩みについてEメールを用いた相談、援助を実施

(2) インターネットの利用時間とSNS等の利用率

① コミュニケーション系メディアの平均利用時間（年代別・平日）



② 主なSNSの利用率（年代別）

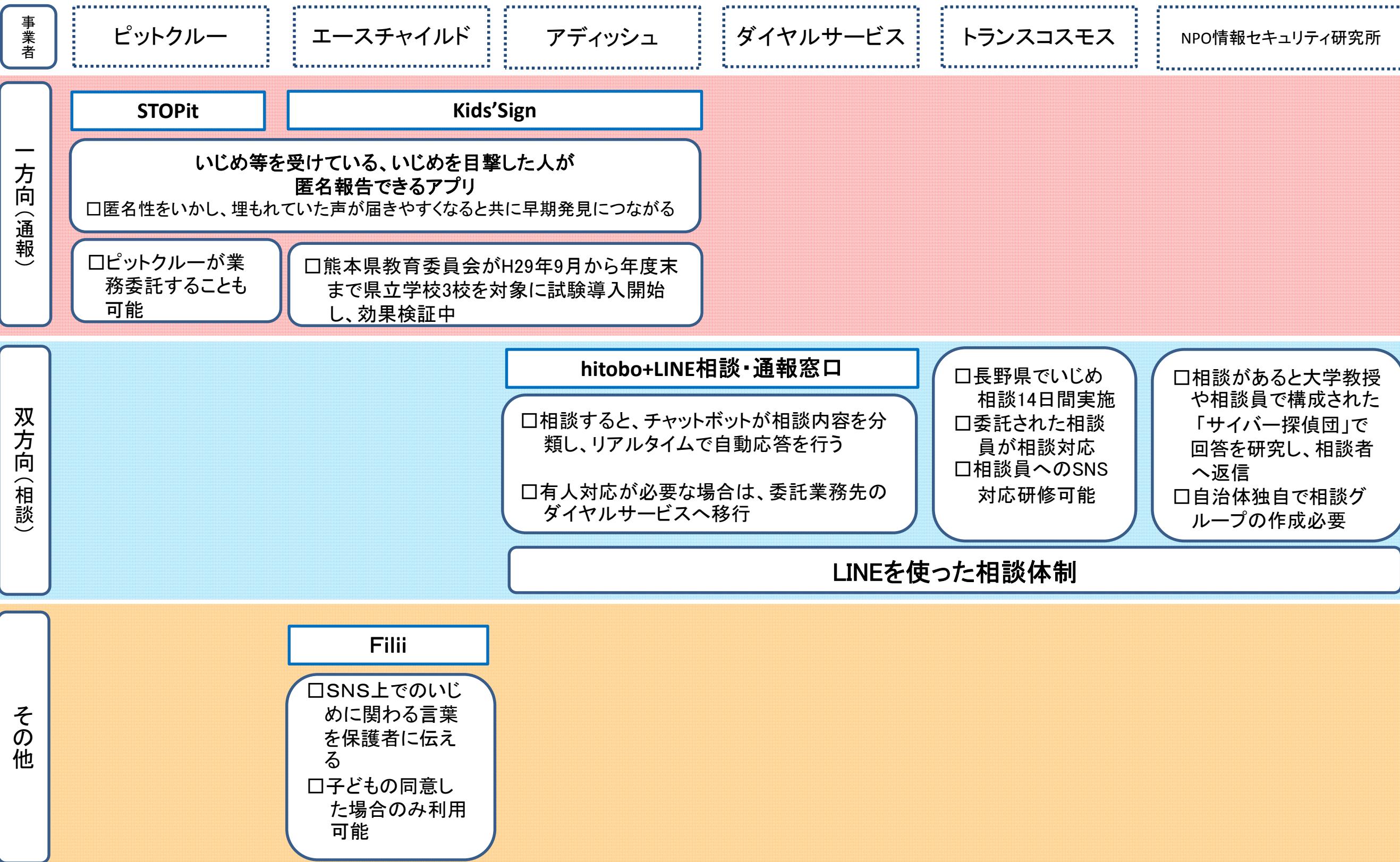


①②とも平成28年情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査，総務省情報通信政策研究所，平成29年7月を参照して作成

- ソーシャルメディア利用について、10代、20代は他の年代と比べ、著しく高い水準にある
- LINEは、各年代ともソーシャルメディア利用者のうちの大半が利用している
- 10代及び20代の若年層は他の年代に比べて、Twitterの利用率が高い

これまでネット上の問題やいじめに対し対策を講じてきたが、LINEをはじめとした閉鎖型コミュニティで起こるいじめ問題への対応や見守り体制は不十分である。また、子ども達の多くがLINE等をはじめとしたSNSコミュニケーション手段として用いているなか、それに応じた相談体制の構築も不十分である。

(2) SNS等相談体制の構築に活用可能なコンテンツについて



先進県の取組や実績を把握し、本県の実態に即した支援体制へブラッシュアップ



平成30年度以降SNSコミュニケーションに対応した見守り体制、相談体制(通報・相談コンテンツ)を充実させる